

市民協働推進モデル事業相互評価表

事業名	地域主体による移動支援の仕組みづくり事業		実施団体名	岡山県高齢者福祉生活協同組合	事業総額 (決算額)	153,851円
			担当課名	高齢者福祉課		
NO.	評価項目		自己採点 (各項目20点満点)	評価の理由		
1	目的・課題 目標設定	当初に設定した目標を達成することができましたか？	16/20	<p><当初設定目標> 講座の延べ受講者数45名以上を当面の目標とします。 また、講座の受講後に、実際に移動支援に取り組む個人もしくは団体が1つ(一人)以上出てくることを、事業の成果として期待しました。</p> <p><実績> 講座参加者数75名で、この点では当初目標を大きく上回ることができました。このテーマに関する市民の方の関心が高いことが背景にあると思われます。もう一つの目標であった、実際に移動支援に取り組む個人または団体は残念ながら未達に終わりました</p>		
2	発展性	さらなる発展や波及につながる成果を得られましたか？	14/20	<p>アンケートでは48名中27名の方が移動サービスの立ち上げに取り組みたいとの結果が出ています。移動支援のサービスの立ち上げはハードルが高いので、すぐには実施できないかもしれませんが、これだけの方が取り組みに意欲を持たれていることは、将来的に取り組むを行う団体が出てくるのが期待できます。</p>		
3	実現性	連絡調整、経理、報告など事業に関する事務は適正に行われましたか？	18/20	<p>適正に行われたものと考えます。</p>		
4	成果	利用者、参加者をはじめ、市民の満足度向上につながりましたか？	18/20	<p>アンケートでは、48名中「参考になった」と答えた方が32名、「まあ参考になった」が12名、「あまり参考にならなかった」が1名、「参考にならなかった」が1名で、多くの方が講座の内容については肯定的な評価をしていただけました。</p>		
5	協働効果	相互が役割と責任を担い、協働による相乗効果を生むことができましたか？	18/20	<p>講座の進め方として、行政側が、地位包括ケアシステムや新総合事業など、行政サイドの取り組みなどを紹介し、団体側が実務的な進め方や、取り組み事例の紹介などを行い、それぞれの役割を果たせたと思います。</p>		
6	総合評価(実施団体より)		<p>講座の実施に関しては、参加者数、参加満足度ともに高い評価を得られたと思います。一方で、実際に移動支援に取り組む団体や個人が出てくるまでには至りませんでした。 ただ、アンケートの結果でも今後取り組んでいきたいと答えた方は少なくなく、その点では、将来につながる取り組みにすることができたと考えます。</p>			
	総合評価(担当課より)		<p>講座の実施により、相談先として、移動ネットおかやまが認知されたことは、市・住民にとって新たなステップにつながる事が期待できると思います。また、移動支援に対する関心の高さはうかがえましたが、実施に向けての敷居も高く感じられているようで、相談件数が少なかった主な要因であると考えています。移動支援の方法について見当がつかないため、実施主体や人・モノ・金などの規模間がイメージできない、また事故に対する責任問題への不安など、踏み出しづらい環境にあると思われます。移動支援は、地域全体に関わる取組みなので、講座の前後に関心の高い方と地域住民との規範的統合を図るような働きかけが必要ではないかと考えます。 総合事業でできることは、移動支援のほんの一部ですが、住民が主体的に取り組めるよう、支援体制を整えていきたいと考えています。</p>			
	総合評価(ESD・市民協働推進センター)		<p>全3回開催されたセミナーでは、地域の支え合い活動(移動支援を含む)の担い手となる町内会等の関係者だけでなく、それらの担い手を支える地域担当職員が多く参加されており、地域の関心やニーズと合致したテーマであることが伺えました。また、セミナーの内容についても担当課による制度(介護予防・日常生活支援総合事業)説明、提案団体による移動支援の基礎情報の提供、市内外の移動支援実践者等による具体的な情報の提供、参加者全員による意見交換など、移動支援事業の開始を志す参加者に対して非常に有意義な機会を提供できたのではないかと思います。その反面、提案団体の人的・資金的な制約等もあって、個別の相談対応や継続的な事業化支援に至らなかったこと(またはその担い手を確保できなかったこと)が非常に残念であったため、事業終了後も提案団体と担当課がつながりを継続しつつ、地域を支える方法を模索していただきたいと思います。</p>			